

STAR TIMES

新入生入学おめでとう！

四月六日に入学式、七日に対面式が行われました。中学生六九人、高校生四四人が新しい制服に身を包み、星陵生の仲間入りをしました。

第四十一回目となる高校入学式、第五回目となる中学入学式が四月六日に本校体育館にて行われ、式には、新一年生とその保護者の方々が参加しました。また七日に行われた対面式では新入生代表として中学から一年A組森下玄寛さん、高校からは、一年十一組高橋俊輝さんが代表挨拶をしてくださいました。



入学式の様子

Q 高校に入ってから、中学までと何が違ったことはありますか。

A 主に部活動や勉強面です。部活では活動時間が長くなり、練習量が多くなりました。勉強では八限までの授業や講座が始まり、勉強時間や量が増えました。

Q 高校に入ってから、目標は達成できるでしょうか。

A 部活と勉強の両立です。三年生になると大学入試があるので、勉強を頑張りたいのと、部活でもいい結果を残したいという目標があるからです。

Q これから頑張りたいことを教えてください。

A 一年生のころは、どうしても人間関係でトラブルや悩みを抱えることが多いと思います。これはある意味当たり前のことですが、考え方、育った環境、性格の異なる四百人もの集まりなので、その中で人間関係を作っていくには自分自身のコントロールが必要です。そして他者の価値観を認めていくことです。

Q 今年一年生はどんな雰囲気の子ですか。

A 集団としては全体的に穏やかな生徒という印象です。まだ十日くらいしか経っていませんが、猫を被っているのかもしれない。これから一人一人を理解していきたいです。

Q 御殿場合宿の様子を教えてください。

A 前半グループは生憎の雨で野外炊飯では大変でしたが、その後の長縄大会では、皆、一生懸命取り組んでいました。悔しそうな顔、嬉しそうな顔の笑顔を見ていると星陵の伝統を受け継ぐ人た

入学式の様子

ちであることを確信しました。

後半グループは、野外炊事スタート時は説明が聞こえにくく、雨の豪雨でしたが、生徒が動き出すと、からりと晴れて美しいカラーが出来上がりました。長縄も誰一人として遊ぶようなこともなく、クラスの和(輪)が広がっていました。

Q 新入生に一言お願いします。

A 一年生のころは、どうしても人間関係でトラブルや悩みを抱えることが多いと思います。これはある意味当たり前のことですが、考え方、育った環境、性格の異なる四百人もの集まりなので、その中で人間関係を作っていくには自分自身のコントロールが必要です。そして他者の価値観を認めていくことです。

Q 先生からのお言葉を忘れず、頑張ってください。

「今」を過ごすことができるのは、今しかありません。一年生だけでなく、二年生、三年生も一日一日を大切に過ごしていきましょう。

体育祭と文化祭のテーマ発表

五月一日に行われる体育祭。今年のテーマは「挑環」です。このテーマには、学年関係なく各色で一つの環になって挑んでほしいという思いが込められています。実行委員長の遠藤さんは「三年生はもちろん、一、二年生にも最高の思い出になるように企画、運営をしたいと思います。しかし、私たちだけではできません。全校生徒が関わることです。決して他人事にせず、一人一人が一番を意識して目立つてほしいと思います。ご協力お願いします。」と話しています。

六月六、七日に行われる文化祭。今年のテーマは「COLOR」です。このテーマには、生徒一人一人が主役となり、それぞれの個性を発揮する。また学校をたくさん色で彩る。という意味が込められています。皆が生き生きとした他の学校とは違う、星陵らしい文化祭にしたいという思いもあります。お客様が十分に楽しめる、居心地よく感じられる空間をつくりましょう。また、おもてなしを

五月一日に行われる体育祭。今年のテーマは「挑環」です。このテーマには、学年関係なく各色で一つの環になって挑んでほしいという思いが込められています。実行委員長の遠藤さんは「三年生はもちろん、一、二年生にも最高の思い出になるように企画、運営をしたいと思います。しかし、私たちだけではできません。全校生徒が関わることです。決して他人事にせず、一人一人が一番を意識して目立つてほしいと思います。ご協力お願いします。」と話しています。

生徒会から

新入生の皆さん、入学してから約1カ月が過ぎようとしています。高校生活には慣れてきましたか。まだまだわからないこと、不安なことは多いと思いますが、きつと、それ以上に楽しいものなのではないかと思いませんか。

先生からのお言葉を忘れず、頑張ってください。

「今」を過ごすことができるのは、今しかありません。一年生だけでなく、二年生、三年生も一日一日を大切に過ごしていきましょう。

「挑環」をテーマに、挑むという思いが込められています。実行委員長の遠藤さんは「三年生はもちろん、一、二年生にも最高の思い出になるように企画、運営をしたいと思います。しかし、私たちだけではできません。全校生徒が関わることです。決して他人事にせず、一人一人が一番を意識して目立つてほしいと思います。ご協力お願いします。」と話しています。

先生からのお言葉を忘れず、頑張ってください。

「今」を過ごすことができるのは、今しかありません。一年生だけでなく、二年生、三年生も一日一日を大切に過ごしていきましょう。

「挑環」をテーマに、挑むという思いが込められています。実行委員長の遠藤さんは「三年生はもちろん、一、二年生にも最高の思い出になるように企画、運営をしたいと思います。しかし、私たちだけではできません。全校生徒が関わることです。決して他人事にせず、一人一人が一番を意識して目立つてほしいと思います。ご協力お願いします。」と話しています。

先生からのお言葉を忘れず、頑張ってください。

「今」を過ごすことができるのは、今しかありません。一年生だけでなく、二年生、三年生も一日一日を大切に過ごしていきましょう。

「挑環」をテーマに、挑むという思いが込められています。実行委員長の遠藤さんは「三年生はもちろん、一、二年生にも最高の思い出になるように企画、運営をしたいと思います。しかし、私たちだけではできません。全校生徒が関わることです。決して他人事にせず、一人一人が一番を意識して目立つてほしいと思います。ご協力お願いします。」と話しています。

先生からのお言葉を忘れず、頑張ってください。

「今」を過ごすことができるのは、今しかありません。一年生だけでなく、二年生、三年生も一日一日を大切に過ごしていきましょう。

「挑環」をテーマに、挑むという思いが込められています。実行委員長の遠藤さんは「三年生はもちろん、一、二年生にも最高の思い出になるように企画、運営をしたいと思います。しかし、私たちだけではできません。全校生徒が関わることです。決して他人事にせず、一人一人が一番を意識して目立つてほしいと思います。ご協力お願いします。」と話しています。

火石天空

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と

校舎を、まだ着慣れない制服姿の生徒が行き交う。放課後は体育祭、文化祭のために生徒が残り、夜まで教室に灯りがともる。★星陵高校の新年度が始まり、一カ月が過ぎようとしている。新しい生活は新鮮だが、不安も多い。しかし、この一カ月の間に行われる体育祭、星陵祭というイベントを通して、私たちは他人同士から一気に仲間になっていく。★高校生活最後の年を迎え、ふと私はこう思う。学校とはどんな場所なのか。学校とは、仲間との出会いの場だと思ふ。同じ学校を選んだ、それだけの偶然が、ともに様々な事を乗り越えていくうちに必然的な仲間となる。一人ではできないことも、仲間とともに頑張っていくと不思議と



大切にして、皆さんの「ありがとう」が聞こえてくるような二日間に行きましょう。

一年生にとっては初めての、そして三年生にとっては最後の体育祭、文化祭です。皆の心に残る行事になるようクラス、学年、全校で協力して頑張りました。

できるような。そして友情の和が広がっていく。★私が生徒会長に立候補したのも、そんな思いからだった。人と人がつながる感動を学校中に広げるために私は会長になった。そして、今その思いは間違いではなかったと感じている。★宣伝の体育祭、文化祭をぜひ一度見に来てほしい。そして、競技や展示物の迫力を体感してほしい。これこそ、星陵生が仲間と作り上げた絆の証だと感じてもらえるはずだ。★このコラムの題名を「火石天空」とした。火石は「ほいし」と読み、星の語源だ。私たちの胸に燃える情熱を表している。「火石天空」——星陵生一人一人が星となり、そして星陵が天に輝く大きな星座になることを願う。